

令5 中学校・高等学校保健体育 (8枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 学習指導要領(中学校平成29年、高等学校平成30年告示)の各教科保健体育について、あとの問いに答えなさい。

○中学校

第1 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、(①)な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって(②)の健康を保持増進し豊かな(③)を実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な(④)を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての(⑤)の課題を発見し、(①)な解決に向けて思考し判断するとともに、(⑥)に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と(⑦)を目指し、明るく豊かな生活を営む(⑧)を養う。

【体育分野 第3学年】

1 目標

- (1) 運動の(①)な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を(⑨)に実践することができるようにするため、運動、体力の(⑩)について理解するとともに、基本的な(④)を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、(①)な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを(⑥)に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や(⑪)の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、(⑫)する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ(⑧)を養う。

○高等学校

第1款 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、(①)、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって(②)の健康を保持増進し豊かな(③)を継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、(④)を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての(⑤)や社会の課題を発見し、(①)、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、(⑥)に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と(⑦)を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む(⑧)を養う。

第2款 各科目

第1 体育

1 目標

<中省略>

- (1) 運動の(①)、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を(⑨)に継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の(⑩)について理解するとともに、それらの(④)を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を(⑨)に継続するための課題を発見し、(①)、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを(⑥)に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や(⑪)の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、(⑫)する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ(⑧)を養う。

1 上記の文中の(①)～(⑫)に入る適切な語句を書きなさい。

2 今回の改訂では、全ての教科等の目標及び内容が再整理され、上記目標の(1)(2)(3)も、育成を目指す三つの資質・能力に沿って示されています。育成を目指す資質・能力の三つの柱を書きなさい。

令5 中学校・高等学校保健体育 (8枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

3 次の表は、中学校第3学年体育分野及び高等学校入学年次体育の領域及び内容の取扱いについて示したものである。表中の(①)～(⑦)に入る適切な語句や数字を書きなさい。

領域及び領域の内容	中学校3年、高等学校入学年次 内容の取扱い
【A体づくり運動】	(⑥)
ア (①)の運動	
イ (②)運動の計画	
【B器械運動】	B, C, D, Gから(⑦)以上選択
ア マット運動	
イ 鉄棒運動	
ウ (③)運動	
エ 跳び箱運動	
【C陸上競技】	
ア 短距離走・リレー, 長距離走又はハードル走【中学校】 短距離走・リレー, 長距離走, ハードル走【高校】	
イ 走り幅跳び又は走り高跳び【中学校】 走り幅跳び, 走り高跳び, 三段跳び【高校】	
ウ 砲丸投げ, やり投げ【高校】	
【D水泳】	
ア クロール	
イ 平泳ぎ	
ウ 背泳ぎ	
エ バタフライ	
オ 複数の泳法で泳ぐ又はリレー【中学校】 複数の泳法で長く泳ぐ又はリレー【高校】	
【E球技】	E, Fから1以上選択
ア ゴール型	
イ ネット型	
ウ (④)型	
【F武道】	
ア 柔道	
イ 剣道	
ウ 相撲【中学校】	
【Gダンス】	B, C, D, Gから(⑦)以上選択
ア 創作ダンス	
イ フォークダンス	
ウ (⑤)のダンス	
【H体育理論】	(⑥)

II 「がん教育推進のための教材」(平成28年 文部科学省)に記載されている次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

人間の体は、細胞からできています。正常な細胞の(①)に傷がついてできる異常な細胞のかたまりの中で(②)のものを「がん」といいます。健康な人の体でも毎日、多数のがん細胞が発生していますが、(③)が働いてがん細胞を死滅させています。しかし、この(③)が年を取ることなどにより低下すると、発生したがん細胞を死滅させることが難しくなります。また、がん細胞は、無秩序に増え続けて周囲の組織に広がり、^A他の臓器にも移動してその場所でも増えていきます。

男性のがんの約50%、女性のがんの約30%は、喫煙や大量の(④)、不適切な食事、(⑤)不足といった生活習慣や、^B細菌・ウイルスなどの感染が要因と考えられています。がんには、原因がわかっていないものも多く、まれに(⑥)が関与しているものもあり、がんになった人が皆、生活習慣を原因とするわけではありません。望ましい生活習慣を送ることにより、がんにかかるリスクを減らすことができます。また、少数ですが、子供がかかるがんもありますが、生活習慣が原因となるものではありません。がんについては、その原因の解明や、予防や治療の方法などの研究が進められています。

令5 中学校・高等学校保健体育 (8枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

がんは、1981年から、日本人の死因の第1位となっています。現在、日本人の(⑦)人に1人は、一生のうちに何らかのがんにかかると推計されています。また、日本人の死因の約(⑧)割はがんとなっています。近年の我が国では、がんにかかる人は増え続けています。これらは、日本の人口の(⑨)とも関連しています。

がんは、全ての臓器に発生する可能性があり、一般的にはその発生した臓器などから名称が決めます。また、「がん」という名称は用いられていませんが、(⑩)なども、がんの一種です。がんは、その種類や状態によって、治りやすかったり治療が難しかったり、あるいは発見しづらかったりします。したがって、がんをひとまとめにして捉えられないところがあり、それぞれ特徴があります。また、がんは進行すればするほど治りにくくなる病気です。がんの種類によって差はありますが、多くのがんは(⑪)すれば約(⑫)割が治ります。

1 文中の(①)～(⑫)にあてはまる適切な語句や数字を、下記のア～フの中から1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 80	イ 障害	ウ 胃潰瘍	エ 4	オ 7	カ 9	キ 運動
ク 免疫	ケ 遺伝子	コ 70	サ 高齢化	シ 60	ス 2	セ 白血病
ソ 3	タ 早期に発見	チ 悪性	ツ 進行	テ 我慢	ト 栄養	ナ 飲酒
ニ 遺伝	ヌ 5	ネ 少子化	ノ 勉強	ハ 減少	ヒ 糖尿病	フ 8

2 次の文は、下線部Aについて説明したものです。文中の(a)、(b)に入る適切な語句を書きなさい。

がん細胞が最初に発生した場所から、血管や(a)管に入り込み、血液や(a)液の流れに乗って別の臓器や器官へ移動して定着し、そこでまた増殖することを(b)という。

3 下線部Bについて、胃がん、肝臓がん及び子宮頸がんの発病に関係する細菌・ウイルスとして、正しい組合せを下記のア～オの中から1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 胃がん－カンピロバクター	肝臓がん－B型肝炎ウイルス	子宮頸がん－ヒトパピローマウイルス
イ 胃がん－ヘリコバクター・ピロリ菌	肝臓がん－A型肝炎ウイルス	子宮頸がん－トレポネーマウイルス
ウ 胃がん－ヘリコバクター・ピロリ菌	肝臓がん－C型肝炎ウイルス	子宮頸がん－バクテリアウイルス
エ 胃がん－カンピロバクター	肝臓がん－C型肝炎ウイルス	子宮頸がん－トレポネーマウイルス
オ 胃がん－ヘリコバクター・ピロリ菌	肝臓がん－B型及びC型肝炎ウイルス	子宮頸がん－ヒトパピローマウイルス

Ⅲ 中学校・高等学校「体育」における「陸上競技」「武道」の内容について、あとの問いに答えなさい。

1 【長距離走の学習段階における動きの例を示した表】(学習指導要領(中学校平成29年、高等学校平成30年告示)解説から抜粋)、及び【長距離走の指導の留意点】について(①)～(⑦)にあてはまる適切な語句を、【語群】のア～トから1つ選んで、その符号を書きなさい。

【長距離走の学習段階における動きの例を示した表】(学習指導要領(中学校平成29年、高等学校平成30年告示)解説から抜粋)

種目	中学校 1・2年生	中学校3年生 高校入学年次	高校 その次の年次以降
長距離走	<ul style="list-style-type: none"> 腕に余分な力を入れないで、リラックスして走ること 自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ること ペースを一定にして走ること 	<ul style="list-style-type: none"> (①)に腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ること 呼吸を楽にしたり、走りの(②)を作ったりする呼吸法を取り入れて走ること 自己の体力や(③)の程度に合った(④)を維持して走ること 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ること

【長距離走の指導の留意点】

速く走るには大きなストライドが必要になりますが、ストライドが大きくなりすぎると(⑤)が大きくなり、疲労しやすくなります。長い距離を効率よく走るには自分に合ったストライドで走ることが大切です。また長く走り続けるためには、(⑥)姿勢を保つことも大切です。(⑦)位置が落ちると、前ももやふくらはぎに大きな負担がかかり、後半脚が上がらなくなったりする原因となります。

【語群】	ア 記録	イ 腕	ウ 動作	エ 上半身	オ 姿勢
	カ 課題	キ 歩数	ク ペース	ケ リズミカル	コ 体重
	サ ブレーキ	シ 肩の	ス 技能	セ 実力	ソ リズム
	タ 緊張	チ 手の	ツ まっすぐな	テ 腰の	ト 膝

令5 中学校・高等学校保健体育 (8枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

2 長距離の走法について、大きな歩幅で走る【ストライド走法】の他に、リズムカルに腕を振り、自然な歩幅で走る走法があります。この走法を何というか書きなさい。

3 武道の指導内容に関する次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

体育の授業では、初めて柔道を学ぶ生徒が多いことが想定されます。初心者には受け身が安全にとりやすい技から指導することが重要です。初めは(①)のように受け身が低い位置で衝撃の(②)技から行い、大外刈りのように(③)に倒れる技を段階的に扱う工夫が必要です。

安全な_A投げ技を身に付けるためには、まずは投げる動作に対応した受け身をしっかりと身に付けることが大切です。取が正しく技をかけ、受をしっかりと保持し、受が自ら受け身を取るようにすることで、(④)を打つことなく安全に投げることができます。そこで初歩の段階から受け身の単独練習と並行して、相手と組み合い、まず相手を補助しながら倒れる練習を行います。

(1) 文中の(①)～(④)にあてはまる適切な語句を、次のア～コの中から1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 前方	イ 腕	ウ 少ない	エ 払い腰	オ 側方
カ 大内刈り	キ 膝車	ク 頭	ケ 後方	コ 腰

(2) 下線部Aについて学習指導要領(中学校平成29年、高等学校平成30年告示)解説において、中学校3年及び高校入学年次に初めて例示されている、まわし技系の投げ技を2つ書きなさい。

(3) 下記は、剣道の技の説明文と指導の留意点である。A～Eそれぞれの技の名称を書きなさい。また、A～Eそれぞれの技の指導の留意点を次のア～カの中から適切なものを1つ選んで、その符号を書きなさい。

【技の説明文】

A	相手と接近した状態にあるとき、隙ができた面を退きながら打つこと
B	相手が面を打つとき、体をさばきながら竹刀で受け、手首を返して胴を打つこと
C	相手が打とうとして竹刀の先が上下に動いたとき、隙ができた小手を打つこと
D	相手の竹刀を払ったとき、隙ができた面を打つこと
E	相手が小手を打つとき、竹刀ですりあげて面を打つこと

【指導の留意点】

ア	相手が面に来るところを逃さず返し、返す→胴打ちの動作を一拍子で行う
イ	相手が打とう攻めようとする起こりを気力を充実させて思い切って打ち込ませる
ウ	相手の手を強く押し、相手が押し返す力を利用して振りかぶり、体をさばきながら正面を打つ
エ	相手の小手下打ちを竹刀の右側で右斜め上にすりあげるように応じ、すかさず右足から踏み込んで正面を打つ
オ	半円を描く心持ちで払い、自分の竹刀が中心から外れないように意識させる
カ	相手に空を打たせ、両腕を上げながら体をさばいてかわし、すかさず胴を打つ

IV 中学校・高等学校「体育」における「水泳」の内容について、あとの問いに答えなさい。

1 以下の文章は、学習指導要領(中学校平成29年、高等学校平成30年告示)解説で示されている「水泳の事故防止に関する心得」です。文中の()に入る適切な語句を書きなさい。

中学校 第3学年 高等学校	水泳の事故防止に関する心得とは、自己の体力や技能の程度に応じて泳ぐ、無理な()は意識障害の危険があるため行わない、溺れている人を見つけたときの対処としての救助の仕方と留意点を確認するなどといった健康・安全の心得を示している。
---------------------	---

2 以下の文章は、学習指導要領(中学校平成29年、高等学校平成30年告示)の各教科「保健体育」で示されている、内容の取扱いです。文中の(①)～(④)に入る適切な語句を書きなさい。

中学校 第3学年	「D水泳」の(1)の運動については、(中略)第3学年においては、アからオまでのの中から選択して履修できるようにすること。なお、学校や地域の実態に応じて、(①)するための泳ぎを加えて履修させることができること。また、泳法との関連において(②)及びターンを取り上げること。なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。また、保健分野の(③)との関連を図ること。
高等学校	「D水泳」の(1)の運動については、アからオまでのの中から選択して履修できるようにすること。なお、「保健」における(③)の内容との関連を図ること。また、泳法との関連において(②)及びターンを取り上げること。なお、入学年次の次の年次以降は、安全を十分に確保した上で、学校や生徒の実態に応じて(④)な指導を行うことができること。

令5 中学校・高等学校保健体育 (8枚のうち5)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

3 次の文章は、学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引(三訂版)に示される事故防止に関する説明文である。文中の(①)～(④)に入る適切な語句や数字を書きなさい。

毎学年、6月30日までに実施される(①)の結果を、水泳の可・不可の決定に当たって、学校医との連携のもとに十分活用することが重要です。

人数確認には様々な方法があり、水泳では(②)による方法が一般的ですが、それだけに頼るのではなく、入水前、退水後に出席簿や班別の名簿などを用いての点呼を併用することが望まれます。

低学年や初心者ほど水温に敏感で、一般的に(③)℃未満ではあまり学習効果は期待できません。そのため、水温は(④)℃以上であることが望ましく、上級者や高学年であっても(③)℃以上の水温が適当といえます。

4 心肺蘇生法に関する次の説明文のうち、下線部A～Fの記述に1つ誤りがあります。その符号を記入し、正しい語句を書きなさい。

胸骨圧迫は「強く」「速く」「絶え間なく」確実に行う。A胸骨の下半分(胸の真ん中が目安)に片方の手のひら基部(手首に近い部分)をあて、もう片方の手を重ねて組む。B垂直に体重が加わるように腕を真っすぐ伸ばし、組んだ手の真上に肩がくるような姿勢にする。1分間にC100～120回のリズムで、D約3cm(小児では胸の厚さの1/3)の深さで圧迫し、E6cmを超えないようにする。一人で圧迫を続けていると力が弱まってくるため、熟練していない人は、F5サイクル(2分間)終えたら交代することが望ましい。

V 熱中症環境保健マニュアル2022(環境省)に記載されている、熱中症に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、気候変動等による影響により、一般環境における熱ストレスが増大しています。この過酷な暑熱環境により、近年、熱中症による死亡リスクも高まっているところです。

(①)が低下している高齢者や、(①)がまだ十分に発達していない小児・幼児は、成人よりも熱中症のリスクが高く、更に注意が必要です。

近年、熱中症による救急搬送人員、死亡者数は高い水準で推移しており、国民生活に深刻な影響を及ぼしています。

こうした状況を踏まえ、令和3年3月25日に開催した政府の「熱中症対策推進会議」において策定した「(②)」に基づき、令和2年度まで実施してきた熱中症予防強化月間を、令和3年度から「熱中症予防強化キャンペーン」と改め、関係府省庁の連携を強化して広報を実施しています。また、令和3年度から全国で運用を開始した「(③)」について、関係府省庁が連携して多様な媒体や手段で国民に対して情報発信し、熱中症予防行動を促しています。

A熱中症の症状は一樣ではなく、症状が重くなると生命へ危険が及びます。しかし、B適切な予防法を知っていれば、熱中症を防ぐことができます。

1 文中の(①)～(③)にあてはまる適切な語句を、語群のA～ケから1つ選んで、その符号を書きなさい。

【語群】	A 暑熱順化	イ ナウキャスト	ウ 熱中症警戒アラート
	エ 熱中症対策行動計画	オ 熱中症対策基本計画	カ 体温調節機能
	キ 熱中症予防システム	ク 運動能力	ケ 熱線被害

2 文中の下線部Aに関して、次の問いに答えなさい。

(1) 熱中症の重症度分類・症状・臨床症状からの分類の組み合わせとして不適切なものを、次のA～ウから1つ選んでその符号を書きなさい。また、その組み合わせの中で誤っている語句を抜き出し、正しい語句を書きなさい。

	重症度分類	症状	臨床症状からの分類
A	I度	めまい	熱けいれん
イ	II度	頭痛	熱失神
ウ	III度	意識障害	熱射病

(2) 熱中症の重症度分類のI度に分類される症状を、語群のA～クから全て選んでその符号を答えなさい。

【語群】	A 生あくび	イ 嘔吐	ウ 倦怠感	エ 立ちくらみ
	オ 筋肉の硬直	カ 体温の低下	キ 大量の発汗	ク 痙攣発作

3 文中の下線部Bに関して、「熱中症を予防しよう～知って防ごう熱中症～」(日本スポーツ振興センター)に記載されている、体育・スポーツ活動時における熱中症予防の原則の文中の(①)、(②)に入る適切な語句を書きなさい。

- ・環境条件を把握し、それに応じた運動、(①)を行うこと
- ・暑さに(②)に慣らしていくこと
- ・個人の条件を考慮すること
- ・服装に気をつけること
- ・具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること

令5 中学校・高等学校保健体育 (8枚のうち6)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

VI 生徒の体力や技能の向上について、あとの問いに答えなさい。

1 新体力テストの「50 m走」に関して、次の文章の (①) ~ (③) に入る適切な語句や数字を書きなさい。

- (1) スタートは (①) の要領で行う。
- (2) 記録は1/10秒単位とし、1/10秒未満は (②)。
- (3) ゴールライン前方 (③) mのラインまで走らせるようにする。

2 運動における上達過程と練習の考え方について、次の文章の (④) ~ (⑨) に入る適切な語句を書きなさい。

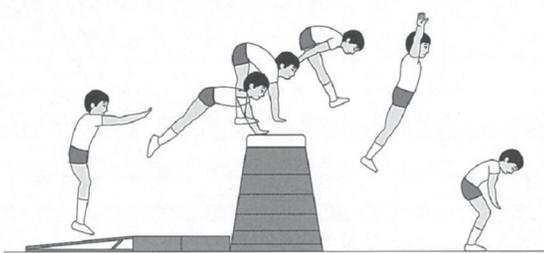
- (1) 運動技能の上達の過程には上達するにつれて (④) の段階、意図的な調整の段階、(⑤) の段階という3つの段階がみられる。
- (2) 練習を続け技能が向上すると、次の段階に進むまでに一時的な伸び悩みや低下の時期が訪れる。この伸び悩みを (⑥)、低下を (⑦) という。
- (3) 運動を実際に行った結果として得られる情報をフィードバック情報という。フィードバック情報には、視覚や筋感覚など自分自身の感覚などから得られる (⑧) フィードバックと自分以外から得られる (⑨) フィードバックに分けられる。

3 トレーニングを効果的に行うために、守るべき5つの原則を書きなさい。

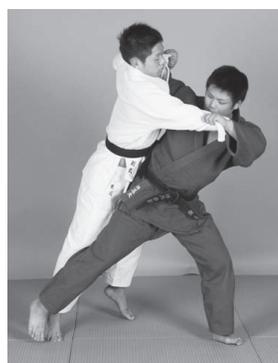
VII 各運動種目における現行ルールや用語について、次の問いに答えなさい。

- 1 陸上競技の女子100 mH、男子110 mH、男女400 mH競技において、一人の選手が跳び越えるハードルの台数を書きなさい。
- 2 バドミントンのネット近くから押し込むように打つショットを何というか書きなさい。
- 3 ソフトボールの塁間(中学生以上)は何mか、小数点第2位まで正確に書きなさい。
- 4 創作ダンスの個人や集団の動きにおける、一斉の同じ動きを何というか書きなさい。
- 5 ターゲット型の球技で、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに向かって赤と青各6個のボールを投げたり転がしたりして、いかに多くのボールを近付けるかを競うスポーツを何というか書きなさい。
- 6 バasketボールのオフェンスが壁をつくってディフェンスの動きを遮るプレイを何というか書きなさい。
- 7 サッカーにおいて導入された、フィールドとは別の場所で映像を見ながらフィールドの審判員をサポートする審判員を何というか書きなさい。
- 8 水泳のクロールや背泳ぎで、手足の動きに合わせて体の軸が左右に傾く動きを何というか書きなさい。
- 9 器械運動の跳び箱運動における【図1】の技の名称を書きなさい。
- 10 柔道における【図2】の技の名称を書きなさい。

【図1】



【図2】



VIII 保健体育、スポーツに関する次の問いに答えなさい。

- 1 「仕事」と「仕事以外の生活」のいずれか一方でなく、調和をとりながら両方を充実させる働き方・生き方のことを何というか書きなさい。
- 2 1896年近代オリンピック第1回大会はどこで開催されたか都市名を書きなさい。
- 3 4年ごとに開催されている生涯スポーツの国際総合競技大会の名称を書きなさい。
- 4 球技や武道などのように、たえず変化する状況の中で用いられる技能のことを何というかカタカナで書きなさい。
- 5 令和4年3月25日に文部科学省が策定した「第3期スポーツ基本計画」において、成人の週1回以上のスポーツ実施率(障がい者は40%)の数値目標は何%か書きなさい。
- 6 ルールや用具、補助などで障がい者や高齢者、子どもなどにも適合したスポーツのことを何というか書きなさい。
- 7 右のシンボルマークの国際競技大会の名称を書きなさい。



令5 中学校・高等学校保健体育解答用紙 (8枚のうち7)

総計		

保体

I	1	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
		⑦		⑧		⑨	
		⑩		⑪		⑫	
	2						
	3	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
		⑦					

I

II	1	①		②		③		④		⑤		⑥	
		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫	
	2	a				b				3			

II

III	1	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦
	2	走法												
	3	(1)	①		②		③		④					
		(2)												
		(3)	A						B					
			C						D					
	E													

III

IV	1														
	2	①						②							
		③						④							
	3	①						②							
		③						④							
	4	符号						語句							

IV

令5 中学校・高等学校保健体育解答用紙 (8枚のうち8)

V	1	①		②		③	
	2	(1)	符号	誤		正	
		(2)					
3	①			②			

V

VI	1	①		②		③	m
	2	④		⑤		⑥	
		⑦		⑧		⑨	
3							

VI

VII	1		台	2	
	3		m	4	
	5			6	
	7			8	
	9			10	

VII

VIII	1		2	
	3		4	
	5		%	6
	7			

VIII

令5 中学校・高等学校保健体育 模範解答

総計
200

I	1	①	合理的	②	心身	③	スポーツライフ
		④	技能	⑤	自他	⑥	他者
		⑦	体力の向上	⑧	態度	⑨	豊か
		⑩	必要性	⑪	協働	⑫	参画
	2	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
	3	①	体ほぐし	②	実生活に生かす	③	平均台
		④	ベースボール	⑤	現代的なリズム	⑥	必修
		⑦	1				

I
40

II	1	①	ケ	②	チ	③	ク	④	ナ	⑤	キ	⑥	ニ
		⑦	ス	⑧	ソ	⑨	サ	⑩	セ	⑪	タ	⑫	カ
	2	a	リンパ		b	転移		3	オ				

II
30

III	1	①	ケ	②	ソ	③	ス	④	ク	⑤	サ	⑥	ツ	⑦	テ
	2	ピッチ		走法											
	3(1)	①	キ	②	ウ	③	ケ	④	ク						
	3(2)	釣り込み腰					背負い投げ								
	3(3)	A	引き面		ウ	B	面返し胴		ア	C	出ばな小手		イ		
D		払い面		オ	E	小手すりあげ面			エ						

III
36

IV	1	潜水									
	2	①	安全を確保			②	水中からのスタート				
		③	応急手当			④	段階的				
	3	①	定期健康診断			②	ボディシステム				
		③	22			④	23				
	4	符号	D			語句	約5cm				

IV
20

令5 中学校・高等学校保健体育 模範解答

V	1	①	カ	②	エ	③	ウ	
	2	(1)	符号 イ	誤	熱失神	正	熱疲労	
	3	①	水分補給			②	徐々	

V	20
---	----

VI	1	①	クラウチングスタート		②	切り上げる		③	5 m
	2	④	試行錯誤		⑤	自動化		⑥	プラトー
	3	⑦	スランプ		⑧	内在的		⑨	外在的
	3		意識性		全面性		個別性		
	3		漸進性		反復性				

VI	20
----	----

VII	1	10	台	2	プッシュ					
	3	18.29	m	4	ユニゾン					
	5	ボッチャ			6	スクリーン				
	7	ビデオアシスタントレフェリー			8	ローリング				
	9	屈身跳び			10	体落とし				

VII	20
-----	----

VIII	1	ワーク・ライフ・バランス			2	アテネ			
	3	ワールドマスターズゲームズ			4	オープンスキル			
	5	70	%		6	アダプテッド・スポーツ			
	7	パラリンピック							

VIII	14
------	----